

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
宮城県畜産会
電話 (62-9180)

編集発行人 百井 英一

定価 1部60円

印刷所 KK東北プリント



肉用牛「セリ風景」(小牛田家畜市場)

（昭和56年9月10日撮影）
（編集・発行）みやぎ畜産会
（印刷）KK東北プリント

美と健康に牛乳を

宮城県牛乳普及協会

肉用牛生産地域育成モデル事業の概要について……2	急速堆肥化処理方式の事例
一岩出山町農協のラピコンー	……3
子牛(黒毛和種)市場開設について……4	全農東北家畜衛生検査分室について……5
県内における豚コレラ抗体調査成績について……6	ロード交雑鶏の「点灯による初産日令の調整」
について……7	「くじらっこ」の町と酪農……8
鶏瘟・王徴素の回想……9	畜産物市況……10
人物紹介……10	人の動き……10

肉用牛生産地域 育成モデル事業の概要について

宮城県畜産課

はじめに

県内の肉用牛の飼養頭数は昭和56年2月1日の調査では81,000頭にも達し、全国で第6位の実績を造るまでに成長した。しかしその規模は平均4.2頭と低いのが現状である。

一方、稲作との複合および水田転作とのからみから畜産のウェートが増大する中で、牛肉需要がさげばれ、肉用牛経営基盤の強化が緊急の問題となってきた。

これらの背景を踏まえ、肉用牛集約生産基地(本県においては北部、大崎桃生、仙南中央地域集約生産基地指定)の中核となる地域において繁殖経営の急速な規模拡大を積極的に実施する時には当事業の有効な使用が望まれる。初期の経営上の問題点にかんがみ規模拡大農家が繁殖めす牛を導入及び保留時から子牛販売までの経営の安定を図るため、子牛販売を見込んで農協等から資金を借り入れた場合、その農家に対して利子負担軽減の助成を行うことによって経営の規模拡大を進めるというものである。

事業のしくみ

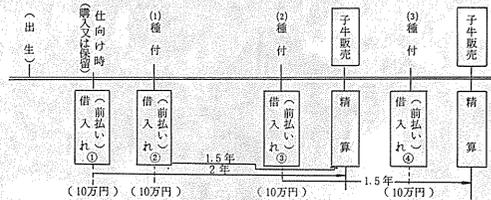
当事業を実施するにあたり、地域の要件として、①肉用牛集約生産基地の指定を受けた地域内であること、②肉用繁殖雌牛をおおむね200頭以上飼養しており、かつ5年後におおむね400頭以上飼養する計画を有し、なおかつ目標時までにはその地域の5頭以上の階層の頭数シェアが50%以上であること。③生産意欲と粗飼料生産のための土地資源を有すること。④市町村農協等の推進指導体制が整備されていること。これらのすべての要件を満たすこととなっている。

なお、この事業の実実施計画の要件としては、現在の肉用牛繁殖雌牛の飼養総頭数が600頭を基準として、一市町村において600頭以上の場合には、導入、保留合わせておおむね300頭以上を、1人当たり平均おおむね5頭以上の増頭、600頭未満の場合にはおおむね

100頭以上とし、1人当たりおおむね4頭以上の増頭を単年度で実施しなければならない。

これらの要件は更に粗飼料の利用率を高め、ふん尿処理の合理的処理を実施し、関係機関の協力を得ることが必要である。また、これらの対象肉用繁殖雌牛の導入及び保留時の月令は6カ月令以上10カ月令未満という月令制限を有して、単年度に増頭し、その肉用基礎繁殖雌牛について3カ年の飼養の中で導入及び保留ならびに種付けの経費負担重に対して農家の資金(10万円)をそれぞれ無利子で借すしくみになっている。しかもこの事業は経営安定のための資金の主旨を持ち、制度金融や生産基盤の整備について肉用牛、集約生産基地育成事業等の関連施策を総合的に実施するのがよいと考えます。なお、この事業は増頭時から牛の繁殖生理に基づいた計画的緻密な事業となっているので、関係機関の全面的協力があって始めて目的を達することができるものである。当事業は昭和56年7月15日付け施行の新規事業のため、本年度は農家において導入引渡し時及び保留時の確認が7月15日以後であれば対象牛はすべて該当する。

事業の仕組



補助金単価

- 初年度 30,100円
(第1回、第2回の借入れ金又は前払金の利子相当額)
 - 2年度 12,900円
(第3回の借入れ金又は前払金の利子相当額)
 - 3年度 4,400円
(第4回の借入れ金又は前払金の利子相当額)
- 補助率 国 - 1/2 県 - 1/4 (計47,400円)
(肉畜係)

糞尿処理メーカーの糞尿専用

ヒドロポンズ

マイティ
6.5B型

マイティシリーズ
スラリーポンプ
チョップポンプ
ノンフロポンプ
ヒドロスプリン

株式会社 東北加藤

〒983 宮城県泉市南光台二丁目22番15号
TEL.0222-74-0781 (代表)

システム農業をクリエイトする

STAR

タフで働きものの
Mr 3000にチビの
Mr 2000が新登場

THB 2000

スター農機株式会社

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内
0222-58-7301

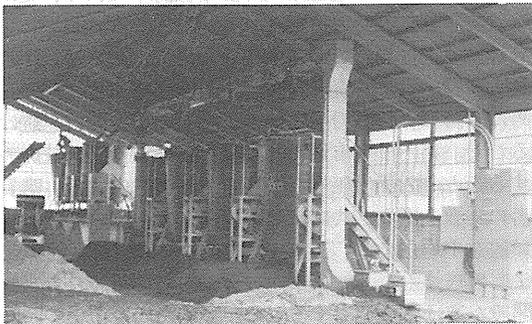
急速堆肥化処理方式の事例

—岩出山町農協のラピコン—

宮城県畜産課

はじめに

県内の家畜排せつ物の発生量は家畜飼養頭羽数の増加によって、最近では3百万トンを超えるものと推定され、その大部分は稲ワラ等と混合して堆きゅう肥として農地還元処理されています。しかし、本県の耕地面積156千ヘクタールへの還元量としては、ほぼ限界量に達しているものと考えられ、市町村によっては還元限界量をはるかにオーバーしているところも出ています。従って、これからの家畜排せつ物の処理を考えるには、生の堆きゅう肥処理だけではなく、減量化、取扱簡便、不潔感除去、保存・流通性の向上、多量施用の可能性などの条件を持つ物質に変換する技術の開発が待たれていたところでした。



最近、この対応技術の一つとして脚光を浴びているのが、急速堆肥化方式—急速コンポスト処理—などといわれる急速堆肥腐熟化の技術であり、今回、その一つの方式が岩出山町農協で実施されましたのでご紹介し参考に供したいと思えます。

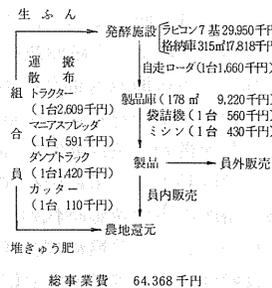
1. 処理方式のあらまし

発酵施設はFRP製(断熱材入)の円筒型をした3立方メートルの発酵槽を7基連ねたものからできています。発酵槽はバッチ式で水分60~70%に調整した原材料を2.2トン投入し、3日間強制通気(時々中断)して一

次発酵を終え、その後常温で約1カ月熟成させて篩分け、袋詰めをし、製品として出荷されます。製品は水分が約40%、N1.3%、P2.1%、K1.1%の成分を有する黒褐色のさらさらした状態のもので、臭もほとんどしません。ここでは水分調整に稲ワラを切断して用いる計画でしたが、生ふんの水分が高く、稲ワラ量が多すぎて無理があるため、面白い工夫をしました。それはエノキダケ培地に用いたノコブの廃物利用です。これはノコブのリグニンなど難分解性物質の分解がかなり進んだ状態にあるため、製品の後熟期間を短縮でき、作物に施用した場合の弊害を防止できるといった利点をもっていることです。

2. 事業への取組み

岩出山町農協管内では年間一万二千トン位の家畜排せつ物が発生しますが、市街地の中などの経営で自家処理できない一千百トンをこの施設で処理するほか、堆きゅう肥の農地還元を容易にするための運搬散布用機械も導入設置し、組合員の利用に提供することとして、次のようなフローシートで実施しました。



3. これからの課題

施設の稼働は56年3月から始まりましたが7基が全部稼働したのは6月中旬からですので実績を検討するのは尚早ですが、一応得られたデータから運営面では稼働率が計画の半分程度なので稼働率を向上すること、製品販売価格が製品コストを大中に下回っているので引き上げること、処理を希望する農家も応分の利用料を負担すべきであること、運搬・散布機械の利用料収入を向上させることなどの課題を解決する必要があると思われます。

なお、製品は良好な品質のものが生産され「ラピコン有機」の商品名で岩出山町農協から販売され(月産30トン)しておりますので、ご希望の方は当農協にお問い合わせください。(畜産環境整備係 秀島)

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

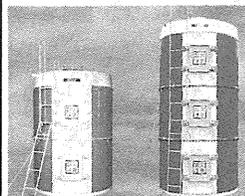
小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198 264151代

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1
TEL 02292 (3)8888代

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所

※ 肉用牛の飼養には非サイレージを
※ 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオン ミニスター

OSM-10 10m³

OSM-15 15m³

オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 TEL 94-0691代
仙北出張所 築館町字久伝 TEL 2-9242
仙南出張所 大河原町幸町 TEL 3-3355

子牛(黒毛和種) 市場開設について

宮城県畜産農業協同組合連合会

昨今の厳しい農業情勢の中で比較的安定を保持して来た和牛の繁殖事業は、本年2月1日現在の農林統計によると、子牛生産頭数は全国で47万頭と、1昨年対比で2%程の伸びを示し、これまで減少して来た子牛生産も僅かながら増加している。

本県の場合は、生産は非常に高く、畜連系列の県内9ヶ所の子牛市場出場頭数は、55年度で10,303頭と、前年度対比119%である。

一方和牛登録事業による子牛登記頭数は13,335頭で、前年度対比124%と大巾な伸び率になっている。この登記頭数は、即く生産頭数に近いことからして、本県の頭数は鹿児島、宮崎、岩手、福島に次ぐもので、全国5位の生産県に数えられる。

又本会で取扱っている凍結精液の配付状況は、54年度で和牛は36,938本で前年度対比112.7%である。55年度は更に48,070本と130%の大巾な伸びであり、従って精液の使用量から見ても56年度の子牛生産頭数は更に増加することが予想される。生産地域も仙台を中心とした県中央地域と、仙南の海岸地帯を除いた全域に亘って伸びて居り、特に仙北地帯の生産は非常に高い。これも本県の場合、従来米作県として米に依存することが強く、近年の農業、畜産の生産調整時代の中で、経営の安定向上を図るために、和牛繁殖に期待するその意欲の現れであり、質の面でも、改良の熱意は旺盛で、全国和牛登録協会の承認する和牛改良組合も県内20ヶ所を数え、更に今後逐次増加する傾向にあり、又同組合婦人部の発足も次第に数を増している。

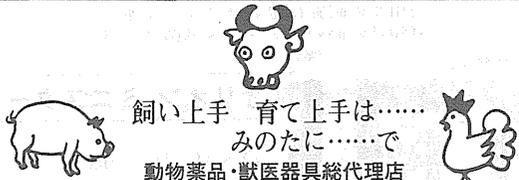
一方、国・県が主体となり畜連が一部事業の委託を受けて実施している集団育種推進事業も、関係生産者に逐次浸透し、間接検定済種雄牛も来年3月頃には県の第1号、2号が誕生し、計画的な和牛の改良も軌道に乗りつつあり、愈々本県和牛も質、量共に全国5指の生産県に定着することを期待するものであり、その実

現も目睫にあるものと確信をする。

かかる情勢の下、本県和牛の優位性を広く普及し、生産子牛を有利に販売することは今後の本県和牛の振興を図る上で重要なことである。従って子牛市場の果す役割は非常に大きく、本会としては、家畜市場の整備と運営に最善の努力を払う所存である。特に最近の子牛生産増加に伴い、仙北地域の家畜市場の入場頭数が急速に増頭し、築館市場等に於ては1回の開設に600頭からの入場を見るに至っている。

適正な取引を行うためには、電光せり機の使用と相俟って、1日の取引をする頭数を規制する要がある。従って当面の対応として、市場開設日数を増加することとし、川渡、小野田、宮崎子牛市場の年3回の開設を、川渡は6回に、小野田、宮崎は4回に増加している。又築館、佐沼子牛市場については、本年度より10月に更に1回増加開設することにしているが、いづれも当分の暫定的な方法である。来年度より本会子牛市場日程を全面的に改正すべく目下検討中であり、更に系列の市場にも協力方要請する所存である。子牛市場日程の改正に当たっての基本的な考え方としては、(1)購買者、特に県外購買者を誘致する様配慮する。そのためには隣県、特に岩手県等の市場との重複開設を避けること。県内子牛市場の開設日を順路よく、連続開設すること。(2)子牛価格を堅持する様に配慮する。購買者の誘致を図ると共に、年間を通して1回の開設入場頭数を平均化する。従って最終的には毎月開設できるよう考慮すること。(3)県内の成畜市場の開設日と重複開設を避ける様努力する。しかし県内成畜市場の開設日は毎月20日間に及ぶため極力重複しない様計画する。

以上の点を勘案して購買者の誘致と、子牛の適正取引を基本として57年度より市場日程を改正したい。次に家畜市場の取引については、市場の機能を充分發揮出来るよう、電光せり機の設置と施設の改善が急務である。小牛田市場の整備に次いで、昨年度は築館市場の売場を改築拡充し、電光せり機による明朗な取引の改善と、市場業務の能率化を図り、市場利用者へのサービス向上に努めて来たが、本年度は佐沼市場の売場改築と、電光せり機の設置を計画し、地域団体への



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本店	山形市蔵王成沢字町浦491~2	TEL893121
山形店	山形市山田字羽黒堂5番216	TEL494306
仙台店	鶴岡市大字布目字東通り57~1	TEL240963
鶴岡店	いわき市常磐湯本栄田3	TEL0246440300
いわき店		

こくておいしい大型びん……

森永 ハイグレード牛乳

宮酪乳業株式会社
名取市飯野坂字山居
TEL02238-4-5181

協力を要請している。

又大河原市場は場内の狹益から本年度計画として、金ヶ瀬に1.2haの用地を取得、移転することに決定し、せり機を設置して近い将来子牛市場の開設を予定し、仙南地域畜産の振興を図る計画である。川渡、その他の市場については逐次段階的に整備拡充をすると共に、既整備市場についても、昨今の社会情勢の推移に対応しつつ施設並びに運営の改善に努力して参りたい。関係各位の御理解と御協力を賜る様願うものである。(堀江)

全農東北家畜衛生 検査分室について

宮城県経済農業協同組合連合会

畜産経営の安定をはかるうえで、家畜衛生対策はきわめて重要であり、このため、系統農協としては、畜産農家の衛生対策についての意識の向上と、集団自衛防疫体制の整備強化を目的に、農協家畜集団防疫運動を展開してきました。

全農では、農協、県連の要望に応えるため、昭和53年度から、全農飼料畜産中央研究所、中部、福岡支所の全国3カ所に、衛生検査室を設置し、農協、県連管内の畜産重点地域に対する衛生診断指導業務を実施してきましたが、この業務に対する要望が、全国各地で強まってきたため、昭和55年度から3カ年計画で、札幌、東京、名古屋、大阪支所管内に設置を決定しています。

全農東北家畜衛生検査分室は、この3カ年計画の一環として、もっとも要望の強い東北地区を対象に設置したもので、その概要はつぎのとおりです。

1. 設置場所

岩手県岩手郡雫石町第22地割字セツ森

盛岡市内から車で30分、小岩井牧場の西に位置し、岩手県経済連中央家畜市場に隣接している。

2. 業務対象地域

青森、岩手、宮城、秋田の4県

3. 業務開始

昭和55年7月1日から

4. 業務内容

(1) 上記4県連管内の畜産重点地域(畜産登録団地、大規模畜産農家等)の定期的衛生検査と、その結果にもとづく衛生対策の指導。

(2) 全農が供給するヒナの品質検査。

(3) 農協、県連の行う各種畜産部会、講習会等において、家畜集団防疫の推進と、衛生対策の普及をはかる。

5. 施設および要員

敷地面積1.113㎡、建物(事務室、検査室)246㎡、ほか動物飼育舎、車庫等。

要員は、所長(獣医師)、所員(獣医師1、検査担当2)3計4名。

6. 検査概況

(1) 対象家畜は、鶏、豚、牛としていますが、集団飼育で衛生対策上最も問題のある鶏、豚を重点的に実施している。

(2) 昭和55年度における検査実績

ア 検査受付件数(55年7月~56年3月)

鶏154件、ヒナ17件、豚34件 計205件

イ 受付検体数(同上)

鶏血清6,775本、豚血清ほか1,084検体

鶏の場合は、血清1本につき8項目(ND、IC、MG、MS、SP、IBD、IB、ILT)と、一部コクシOPG検査を実施するので、実際の検査数は、受付検体数の8~9倍の約60,000件になります。このほかに細菌検査と薬剤感受性試験(細菌1株につき、13~18薬剤)を実施している。豚の場合は、血清1本につき3項目(AR、トキソ、コリネ)と、細菌検査と薬剤感受性試験を実施しています。

本県での検査は、現在までプロイラー団地を主体に、一部豚を実施していますが、今後更に各関係機関のご指導をいただき、系統家畜衛生対策の確立と、畜産農家経営の安定向上に努める所存ですので、よろしくお願いたします。

(宮城県経済連家畜診療所長 堀井長門)

飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (95) 4171~4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

さく井工事 畜舎工事

ポンプ工事 設計・施工

水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461

県内における豚コレラ 抗体調査成績について

仙台家畜保健衛生所

豚の急性熱性伝染病である豚コレラは、豚コレラウイルスの感染により発症し、その早い伝播力と死亡率が極めて高いことから、養豚農家に与える経済的損失が大きく、豚の病気の中でも重要な悪性伝染病とされています。

本病の予防としては、昭和44年から現在の豚コレラ生ワクチンの実用化によって、その後の発生は激減されてきましたが、的確にワクチン接種を実施することが防疫の基本とも言えます。今回そのワクチン接種の状況と効果を見る目的のため、抗体調査を実施したので、その成績を中心に概要を紹介します。

1. 最近の豚コレラ発生状況

全国的には、昭和50年の発生以来暫く見られなかったが、昭和55年には全国各地で本病の発生が相次いで見られ、その数は11都道県、50戸、5,920頭の発生と報告されています。昭和56年に入っても散発的に発生が見られています。これら発症豚の多くは、ワクチン未接種であったことが、今後の問題点として残されています。

2. 県内における発生状況

昭和44年に4戸92頭の発生を最後に、現在まで全く見られていません。これは豚の飼養頭数およびワクチン消費量から推定して、県内のワクチン接種率は、全国平均の82.3%をはるかに上回っているものと考えられます。

3. 抗体調査方法

昭和56年2月に、県内各地の115戸の農家より、いずれもワクチン接種がされている繁殖母豚159頭とそれらの子豚318頭について採血し、血清を用いて豚コレラの抗体検査や、ワクチンの接種状況について調査しました。抗体価は4倍以上を陽性とみなします。すなわち4倍以上であれば、抗体を保有しているので、野外の豚コレラを防ぐことができる訳です。

4. 調査成績

現在の生ワクチンの子豚への効果的な接種日令は、生後30日～40日令が理想とされています。そこで県内ではどのように実際行なわれているかを見たのが、図1のとおりです。31～40日、41～50日令時に接種されている子豚が多く、これらは理想に近い日令であり、

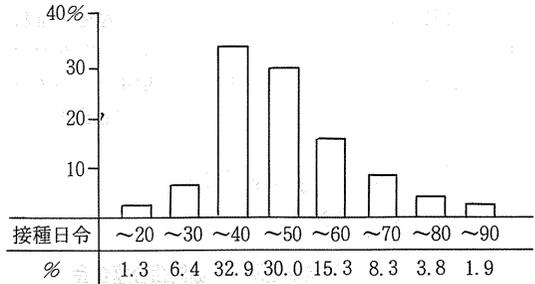


図1 野外における子豚のワクチン接種日令の状況
ワクチンも有効であると考えられます。

しかし30日以前に接種される豚は、母豚から受けついで移行抗体がまだ残っているためワクチンが効かない可能性があります。逆に60日令以降の接種では、移行抗体も少なくワクチン接種されるまでの間に、豚コレラの感染があった場合これを防ぐことができない危険性が多分にある訳です。このようなことから今後は

抗体価	母豚	子豚
< 4	11.3%	9.1%
4	2.0	1.6
8	3.8	6.0
16	0.0	4.7
32	6.3	7.0
64	6.3	4.7
128	12.6	14.4
256	6.3	6.0
512	13.9	13.5
1,024	3.4	7.0
2,048	10.2	8.2
≥ 4,096	23.9	17.8
計	100.0	100.0

表1 母豚、子豚の抗体価の分布

いつもフレッシュ!!

明治牛乳

明治乳業

医薬品総合商社
動物用薬品、器具機材

株式会社 山田仙寿堂

取締役社長 山田修造

本社/仙台市木町通1丁目5番19号
電話/0222(63)3151(大代表)
営業所/古川・石巻・気仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

なるべく接種適期の日令に行なわれることが大切と思われる。

ワクチン接種歴が1回以上の初産豚から11産までの繁殖母豚159頭と、生後48日から174日令、ワクチン接種後7日～114日の子豚における抗体価分布は、表1に示しました。母豚には<4の抗体を持たない陰性豚が11.3%居ることになり、これらはさらにもう1回のワクチン接種により、抗体を上げておく必要があります。全体としては、比較的抗体価の高い方に母豚が集まっているので、これらはほぼ安全であると言えます。子豚では9.1%が陰性であり、これらは前述の移行抗体やその他の原因のため、ワクチン接種にもかかわらずその効果の見られなかった豚です。野外に発生があった場合、これらが最初に罹ることは充分考えられます。県内の抗体保有状況(陽性率)としては、繁殖母豚88.7%、子豚90.9%とはほぼ平均的な水準の抗体レベルを維持しているようです。

家保管内別における母豚と子豚の抗体保有率(陽性率)は表2に示しました。母豚では築館、仙台、古川管内の地域が高いようです。子豚では古川、追管内が他の地域より高い成績を示しています。

地 域	母豚陽性率	子豚陽性率
大 河 原	84.6	82.4
仙 台	90.9	86.4
古 川	90.9	96.3
築 館	94.4	88.9
追 巻	85.7	94.6
石 巻	80.0	87.0
全 県	88.7	90.9

表2 地域別抗体陽性率

5. まとめ

昨年からの全国的な発生で、発病豚がワクチン未接種豚に集中していること、また的確なワクチン接種を受けていた豚群や農家からは、本病の発生はなかったことが知られています。これは豚コレラの予防にワクチン接種の重要性を示すものと考えられます。幸いこのワクチンは、効果が早く現われること、効果が長いことなど多くの利点を持ったすぐれたワクチンであると認められています。しかし接種日令、ワクチンの取扱

いなどの確に使用しなければ、その効果が半減することは、当然と言えます。子豚には、生後30日～40日令時に接種すること、繁殖用母豚には、子豚時とそのあと6ヶ月後、さらに1年後の計3回の接種プログラムを守ることが必要です。県内には豚コレラの発生は、長い間ないという安心感から、ワクチン接種を怠ることがないように今後は注意すべきでしょう。同時に大切なことは、豚コレラにかぎらず、不断の適切な飼養および衛生管理を行うことによって、発生は防止できるものと考えられます。(病性鑑定課 高橋勝一)

< 畜試便り >

ロード交雑鶏の「点灯による初産日令の調整」について

荒川和彦

はじめに

採卵鶏の小格育成のため、育成期に制限給餌することは、飼料の節約などの面で効果的と考えられ検討されてきたところであるが、初産日令がおくれる欠点があり、今回これを点灯によってどの程度カバー出来るかを試験した。なお、テスト鶏は東北寒冷地に適合するとされるロード交雑鶏を使用した。

I 試験方法

1. 試験期間：7月ひな、53.7～54.8
：4月ひな、54.4～55.8
2. 試験場所：宮城県畜産試験場
3. 供試鶏：ロード交雑鶏、白レグ
4. 試験区の構成

項目 区別	育成期飼料		産卵期飼料	点灯処理		摘 要
	1～4週令	5～22週令	23～70週令	7月ひな	4月ひな	
対 照 区	不断給与	不断給与	不断給与	140日令	150日令	点灯は各
試験1区	"	制限給与*	"	90	100	区、1日
" 2区	"	" *	"	120	125	当り14.5
" 3区	"	" *	"	150	150	時間
WL 4区	"	不断給与	"	120	150	

註*は対照区の80%になるような体重にする。
1) 7月ひな：対照区飼料消費量の80%給与
2) 4月ひな：" " 70%給与

新製品 くみあい子豚用配合飼料

スーパーピグB マッシュ・ペレット

新飼料添加物オラキンドックス使用

農協・宮城県経済連・全農

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1

02202 (2) 2278-9

山形営業所 山形市小石川四丁目9-24

0236 (23) 9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

02293 (4) 2018-9

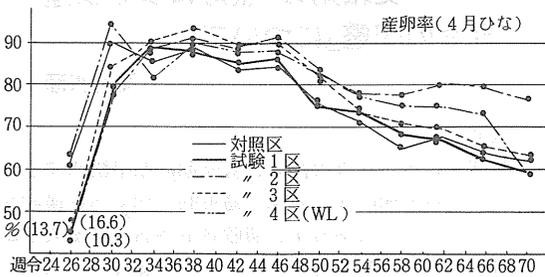
II 試験成績の概要

1. 初産日令

総体的にみると、初産日令(50%産卵率)では、対照区に比較して、試験区が7月ひなで3.5日、4月ひなで23日遅れ、体重制限の初産日令に及ぼす影響がみられた。また、試験区内では、7月ひな、4月ひなとも2区の初産日令が早かった。

2. 産卵率

全期間では7月ひなが3区<1区<対照区<2区の順であり、4月ひなでは2区<対照区<3区<1区の順に高かった。また、1期(23~34週令)の産卵率をみると3区>2区>1区の順に高く、即ち、点灯開始日令の遅い区ほど産卵率が高かった。



3. 飼料要求率

7月ひなでは3区>1区>対照区>2区の順に低かった。4月ひなの成績は次の表の通りであった。

期別	I	II	III	IV	I~IV
区名	23~34週令	35~46	47~58	59~70	23~70
対照区	100.6	100.0	100.0	100.0	100.0
試験1区	129.5	97.9	95.9	98.2	105.0
試験2区	127.5	94.9	89.9	89.7	100.0
試験3区	122.8	94.9	93.6	94.9	101.2
WL 4区	99.2	94.9	89.1	82.4	91.1

II~IV期は試験区が各区とも対照区を下廻っているが、I期の要求率が高かったため全期合計では対照区より高くなっている。

III 要約

体重制限による産卵のおくれは80%程度では目立つほどではないが、70%では27日と大巾なおくれとなっ

た。

点灯による促進効果は80%程度には有効と考えられるが、70%位の強い制限になると点灯だけでは期待した効果は得られないようである。

産卵成績は80%制限では産卵率、生産卵重ともに対照区と変わらず、70%制限では、産卵率では僅かに劣ったが、生産卵重は試験2区、3区が対照区を上廻っている。70%制限での産卵率が若干ながら低いのは、産卵開始のおくれか、または他の要因によるものと考えられる。(研究第二部養鶏科)

東 西 南 北

「くじらっこ」の町と酪農

ユバルトラインの終点、霊島金華山を目前にした牡鹿町鮎川は、明治初期から日本近代捕鯨の主要基地として永い歴史を持ち、年間1500余頭が水揚げされたといわれ、最近迄人口約1万人のうち5分4の人達が、何んらかの形で鯨産業にたづさわっております。

こうした鯨の町牡鹿町は、国際捕鯨規制によって、大きな衝撃を受けておることは皆さんも篤とお分りのことと思います。

この鯨の町、金華山の町、磯釣観光の町として有名な牡鹿町最突端に、牡鹿町の全酪農家が、と言っても4戸120頭余りですが、集団で生乳生産に励んでおります。標高4~50米の丘陵地帯に、広々とした草地在し、放された乳牛は、牡鹿半島の山々を背に、青い空と海に囲まれ、伸々と草を食む光景は山会の放牧地とは趣を異にする放場風景です。



この酪農家は、平均耕地面積5ヘクタール、飼養規模25~40頭の中規模以上の酪農家で、お互に協力しあい経営に励んでおります。

画期的な家畜ふん尿処理用
めづまりのない

多板式固液分離機

- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力

株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

TCM東アキアローダ



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティール・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 0222-95-5517・5511

しかし、これ等酪農家は何んの苦勞もなく育て来た訳ではありません。表現は悪いが黒崎農場の残留部隊です。黒崎農場、この農場は戦後間もなく、㊦大洋漁業KKの捕鯨船に積込む野菜栽培の目的で開拓された農場です。月給制の日曜休みの共同経営で始めました。充足当時の食糧難時代は毎日の疲勞も楽しい日々として過すことが出来た様です。しかし食糧事情が好転する昭和24～5年頃より、大洋漁業も黒崎農場の存在を、除々に無視する形となり農場の経営も閉鎖止むなきに至り、1人去り、2人去りして畑は荒れほうだい、27～8人いた農場も10人となり、個人経営の方向に移らざるを得ず、各人2.5ヘクタールの配分の中で経営の方向転換がなされた訳です。

これ等の人々も又経営に行き詰り、農場を跡に新世界の開拓に離れました。以後時代は高度経済成長の波に乗り離農者も適当な就業が出来たろうと察しております。

しかし紺碧の空と海を、汗を流し開拓した土地を愛し、生活を守ろうとした人々は苦勞の連続であり、生活の糸口として、1～2頭の乳牛を導入したのが今日の酪農基盤となった訳です。その間、牛飼技術の習得や、繁殖障害、病気との戦いを経て昭和37年頃には、各戸5頭規模、39年には各戸5ヘクタールに基盤を拡大し、草地も本格的に造成、12～3頭に増頭、更に農業資金等の融資を受け冒頭の頭数にこぎ着け、酪農専業で生活できる迄に至ったのです。

方向転換してこれ迄に至る30余年、地区に残った人々の結束と、一貫した信念、家族の暖い協力、蔭には町長初め、町当局の深い理解と協力があったからこそ、今日の栄を握ることが出来たものと思います。

現在県酪連桃生集乳所へ隔日毎に1.5tの生乳を雄大な太平洋を左右に、コバルトラインを従走出荷しております。

今ここで考えるに、行き詰った野菜生産が生乳生産にと踏切り、苦勞の中にも生きがいを求め、後継者も育ち、安定した経営に一生懸命働いてる姿を見ると、現在叫ばれている稲転問題も、地域ぐるみの一貫した体系作りとともに努力すれば、年月はかかろうが、き

っと新しい農業の姿に変わるのではないのでしょうか。

(石巻家畜保健衛生所指導課長 石川 英)

(石巻農業改良普及所 高瀬 修)



雞瘟・王徽素の回想

一昔前の昭和43年、当時の桃生牡鹿家畜保健衛生所に赴任して旬日も経ない頃、家保の来訪者に突然中国語でまくしたてられ、所員一同大慌てしながらも、海外からのお客さんの要望に何かと応えることができ、大いに感謝されたという話である。

ある日突然中国語一辺倒の来訪者があり、何が何やら当方皆目見当つかないので、黒板に要件を書かせたところ、「雞瘟」「王徽素」という何ものかが欲しいということらしい。「王徽素」は語感からワクチンらしいとは分ったが、「雞瘟」については、日本でいう鶏痘なのか、それとも当時全国各地に流行し甚大な被害を齎したニューカッスル病なのか、あるいは他の病気なのか見当がつかない。鶏病について横文字で示しても相手には通じない。確かに字体の感じから体温の上昇を伴う疾病には違いないだろうと思ったが確証がない。中国とは同種同文の間柄とはいいながら、お互に略字、簡便化をはかっており、なかなか意志疎通は難しいものと感じられた。

そのようなことで、一時途方に暮れた次第であったが、次々に別の手を打ってみた。当時北京大学に招へいされ、帰国後間もない大学の先生に電話照会しても分らずじまい。それならばということで中国本土出身の中華料理店主を探し通訳を頼み込んでみたものの、来訪者の話す中国語は北京官語、料理店主は広東語ということでは全く通じない。恐らく日本では北の津軽辯と南の鹿児島辯との方言同志の対話でも皆目通じないことはないだろうと思うが、さすが広大な国土、10億の民を容する中国だなーと感心をいたした。幸にして料理店主の取り計らいにより、北京官語を話す台湾婦人が見つかり、電話通訳によって2時間余の悪戦苦闘も終りを告げ、漸くにして次の要件を把握することができた。「私は台湾の船員であるが、台湾で採卵養鶏をやっている友人から、日本には「雞瘟」に卓効のあるワクチンがあるので、寄港の折に買求めてきてくれと頼まれた。「雞瘟」という病気は、ブルブル体が震える病気だそうだ」

そのような経過を辿り、「雞瘟」とは、ニューカッスル病と総合判断し、デューラーから不活化ワクチン入手するなり、石巻新港の1万トン貨客船まで届けたところ、半信半疑であった船員は大いに感激し、燐鉱石と世界慢遊の旅の外国人老夫婦を乗せた船内を隈なく案内してくれ、我々に心からの感謝の意を表してくれた。後日「雞瘟」イコール、ニューカッスル病なの

牧場用柵には
強く美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼(株)仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 277053
販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
仙台市花京院二丁目1 TEL 627771
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 846221

か家畜衛生試験場の友人に確認してみたところ、ニューカッスル病に間違いなしという御託宣があり、初めて安堵した次第。因みに昨年全国各地に散発した豚コレラは「猪瘟」というそうである。畜産においても家

畜、家きんの輸出入や技術交流が活発化している今日この頃少くとも隣国の畜産用語にも心したいものである。(迫家畜保健衛生所長 大場民雄)

畜産物の市況

Table with columns: 種目, 規格, 単位, 価格, 摘要. Rows include items like 卵, プロイラー, 豚肉, 和牛メス, 和牛ヌキ, 肉, 乳牛メス, 乳牛ヌキ, 和牛子牛, 子豚.

目前となり、この功績は誠に大きいものである。

氏は農業共済連きっての紳士で、温厚篤実一見柔な感じを受けるが、事に当っては緻密な計画と検討を重ね完全遂行をめざす努力家で剛を内に秘めた真面目な性格は関係者の信望を得ている。

敵父の勤務地(国家公務員)朝鮮で、昭和3年7月に生れ終戦時は朝鮮総督府水原農林専門学校獣医畜産科在学中であった。敵寒と風雪のもとで鍛えられたため忍耐強く不屈の精神を持ち合せている。

昭和24年3月盛岡農林専門学校獣医畜産学科を卒業、同年5月に宮城県農業共済連に入り、共済人としての第1歩を踏出した。複雑な事務処理と制度の普及、加入推進、損害防止と取組み、昭和31年診療所係長、昭和40年石巻支所次長に転出し、現場において制度の普及と指導のかたわら加入家畜の診療と事故防止に情熱を傾注した。昭和43年本部にもどって家畜課長となり包括共済制度の普及と事務処理体型を作り、昭和51年診療課長として家畜診療所の整備強化と獣医職員の勤務体制の確保をはかり、昭和52年部次長、昭和54年8月家畜部長に昇進した。又円満な人柄が推されて県獣医師会副会長となり、共済と獣医師会のパイプ役でもあり、さらには県畜産会非常勤コンサルタントとして本県畜産発展に敏腕をふるっている。

趣味は盆栽、焼物、酒は付き合い程度で、最近は腰回転を良くするためゴルフ練習を始めたとか、…今後溢々のご活躍と、ご健闘をお祈り致します。(加藤)

祭り

- 1. 幸せは昔の祭りの憶い抱く
2. 宵祭り留守居のくじは父が引き

山木 ため

人物紹介

高橋 芳氏

(宮城県農業共済組合連合会家畜部長)



家畜共済一筋にこの道30年、家畜共済の『生字引』的存在は自他共に認めるところであり、卓越した指導力により、加入頭数9万頭、総共済金額200億円達成

人の動き

Table with columns: 宮城県, 退職, 新, 旧, 氏名. Contains personnel changes and retirements across various departments like 農政部, 畜産課, 技術部, etc.